

ぱちんこ 言葉物語

78

オリジナル機

この原稿を書いている頃、私も家族はインフルエンザにマイコプラズマ肺炎が大流行。散々な2月となっております。この号が届くころにはピークは過ぎているとは思いますが、皆様もどうかお気を付け下さい。

さて、今回の言葉物語は「オリジナル機」です。徐々にパチンコ・パチスロで見え始めてきた傾向ですが、この言葉が持つ意味とは何でしょうか。パチスロで発表相次ぐ

ここでの「オリジナル機」とは大まかにイメージを自社オリジナルとして開発・発表された機種のこととします。

パチスロでは最近になりオリジナル機の発表が相次いでおり、この原稿を書いている時点から遡ること100機種中で、オリジナル機は51機を数えます。一方、パチンコにおいては演

出等の見せ時間をつなく必要から、どうしても世界観や映像が予め作られているものを利用する方が手取り早いこともあり、過去100機種中では30機種程度となります（いずれも筆者調べ）。

全体では約40%がオリジナル機として世に送り出されていることとなり、この比率は上昇しているようです。これはパチンコの役物系機種や、パチスロの脱液品の増加傾向もありますが、新規則に対する懸念などを可能な限り払拭するために、ユーザーが想起しやすいお馴染みのキャラを用いて誘導させるといった手法として活用することも多くあります。例えば、パチスロ6号機ではノーマルAタイプの獲得枚数減少に市場は大きな懸念を抱いていますが、アクロスが超メジャーキャラ「ドンちゃん」を用いて市場に登場させて必死に誘導しようとしています。ゲーム性は心配無用として、今後の稼働に注目が集まっています。



販促用としても有効的

2018年のパチスロ攻略誌でも、ディスクアップやアレックス等のオリジナル機は必ず上位、それもトップを争う人気でした。それはゲーム性の優秀さは無論、機械割の甘さもポイントでした。以前は利益が取れなければ撤去の対象であったのですが、広告宣伝費の投下に大きな意味を見出せなくなった昨今では、ただ単純に赤字機種という意味でなく来店促進・店内稼働貢献としての販促費として理解されるようになりました。このタイミンゲも奏功した要因のひとつでしょう。

また、ニューパルサーDXチェリーバージョンでは、4号機時代の代表



タイムクロス2のタイム博士・アボットとウィンちゃん。可愛さ満点のキャラたちはゲーム性の面白さと共にグッズ販売でも貢献している。
©YAMASA

的なりーチ目であるチェリー対角線ポナス図柄の出現頻度を上げるための改良機です。このようなバージョン違いの制作も容易に行えるのもオリジナル機ならではの強みでしょう。またオリジナルの楽曲等は大都やサミー等のお家芸山佐も名機を多数持っているため今後に期待です。

「カエル」「海」が代表例

自社のオリジナル機は自社を長期で助けてくれる「無形資産」になります。楽曲・キャラ・ゲーム性、その全てがメーカーを長期で支えてくれます。その代表が海一族のマリンちゃんでしょう。版權ものは、語弊はありますが長期で活用しない限り「助っ人外国人」なのです。企業をイメージさせるには生半可な努力では不可能です。例えば上述のニューパルサーでイメージされる「カエル」山佐は26年目、海物語のマリンちゃんでは「海」三洋のイメージも24年目の資産なのです。メーカーも苦しい時に助けてくれる「自社の味方」を、たまにはじっくりと作ってみても良いのかな、と海をボーっと打ちながら思うのです。（大和田敏男）

おなじみキャラに期待感